



▲善方義治さん(88歳)・勝子さん(82歳)。二人で出かけた思い出の写真を居間に飾って楽しんでいるそうです。

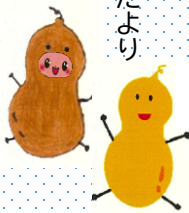
岩代地域で仕事や趣味、ボランティア等に携わり、元気に暮らしている高齢の方を紹介するシリーズ。第五回目は、小浜市新町在住の善方義治さんと奥様、勝子さんをご紹介します。

八十年代で日本一周の旅へ。今年も愛車で気持ちのおもむくままにドライブを楽しむつもりです！

「めざせ！生涯現役」シリーズ⑤

かわら版
いわしる

集落支援員だより



◆義治さんの職歴や奥様との出会いについて

私は父を早くに亡くしたので、十代の頃は新聞配達をしながら学校へ通い、当時百二十八軒あった新町全部の配達をしました。そんな十代でしたので「脚の強さは誰にも負けない」と自負しています。卒業後、幸運な出会いから豊田市のトヨタ自動車に就職。後に、新車を船で運ぶ新プロジェクトで塩竈勤務となり、陸送車の事故係を担当しました。結婚は多賀城市に勤務していた二十九歳の頃で、お見合いみたいなものでした。多賀城市に土地を購入し、新居を建てる計画をしていた矢先に本社会社の転勤命令が下り、一晩考えて会社を辞めて故郷の岩代に帰ることを決意。商売をやりたいという思いもあり、家内の「好きなことをやればいいじゃない？」という言葉が励みになり、ガソリンスタンドを始めることにしました。とはいえ、夫婦ともに商売は初めてだったので色々大変でした。家内の「一年四百日、働いた気分」という言葉通りの忙しい毎日。苦勞をかけたので「六十歳になったら仕事を辞めて日本各地をドライブしよう」と言っていました。結果的にそれが叶ったのが、私が八十一歳の時です。二十一年後、私がいなくなりました(笑)。

Q&A形式で 善方夫妻の人となりを紹介

善方夫妻のインタビューでは、一日一日をお二人共に楽しんでいる様子が印象的でした。その内容をご紹介します。

Q.岩代の好きな風景は？

→昔は一本松と呼んでいた小浜城址に腰を下ろして、安達太良山や吾妻連峰を眺めるのが好きです。(義治さん)

→岩代の風景はどこを歩いてもいいですね。桜の季節、紅葉の季節など四季折々の楽しみがあります。散歩で工業団地方面へ出かけますが、山並みが一望できて清々します。(勝子さん)

Q.健康のために気をつけていることは？

→毎日散歩すること(冬は滑るのが怖いので休んでいます)。あとは月2回、須賀川でゴルフをしています。(義治さん)

→車でサッカー場へ行き、周囲を歩いています。(勝子さん)

Q.好きな言葉は？

→健康以外に望むことなし。(義治さん)

→この年になったらそれしかないね(笑)。(勝子さん)

Q.好きな食べ物は？

→昔は飲み会で毎日のように自家製鶏の丸焼きを食べすぎたので、鶏肉以外なら何でも好きです。(義治さん)

→年をとったら嫌いなものになりました。(勝子さん)

Q.岩代での思い出は？

→「よく働いた」かな？(義治さん)

→本当に盆も正月もなかったね！(勝子さん)



▲数年前、勝子さんの歌の会の仲間と合戦場のしだれ桜を訪れたことも楽しい思い出。

◆趣味や楽しみについて

野球、ソフトボール、ゴルフ、登山など様々なことに挑戦してきました。シニア野球では、全国大会は何度も出場した経験があります。また仕事柄、車の運転が大好きで二十九人乗りの中型バスを運転して近所の人や同級生とよく旅行に出かけました。家内はカラオケが趣味で、地元の「童謡唱歌会」にも所属していますが、会員の皆さんと二本松市内の桜の名所を回ったこともあります。



▲富士五湖へも何度もドライブ

◆日々思うことについて

念願だった定年退職記念の日本一周ドライブを実現したのは八十二歳の頃です。北海道や九州をはじめ、様々な観光地がテレビで放送されるのを見ると、二人で訪れたときのことや色々と思い出され、楽しいですね。一昨年、娘から車の運転を心配されたので、昨年からはドライブは夫婦だけで出かけています。九十歳で免許を返納するつもりです。残りの一年ですが、夫婦でドライブを楽しみたいと思います。



▲中釜戸のシダレモミジもお気に入りのスポット



▼資料を読むと相続に関することが一通り分かるようにまとめられています。参加者は自分についてワークシートに記入して学習しました。



サロン
訪問記

小浜の新町サロンでは、福島県司法書士会に所属する司法書士の栗田恭祐さんを講師に招いて、相続と遺言に関するセミナーを開催しました。

新町なのはなサロンへ相続・遺言セミナーを開催

今回のセミナー開催は、いわゆる福祉会から福島県消費生活課の出前講座の案内が届いたことがきっかけです。「自分を含めサロンの皆さんも終活を考える世代になっていきますので、まさにぴったりのテーマだと思い申し込みました」と代表の渡邊康子さん。

当日の参加者は会員以外の方も含めて二十三名。テキストやワークシートが配布され、栗田さんによる説明は簡潔で分かりやすく、皆さん、熱心に話を聞いていました。質疑応答では、財産放棄や遺言書、遺産分割協議書などに関する質問が上がり、実りある時間になりました。

◆『岩代おじさん図鑑』関連情報◆
内堀知事が「名誉岩代おじさん」に！



▲内堀知事と岩代観光協会会長、湊幹夫さんほか『岩代おじさん図鑑』『ふしぎな地図Ⅰ』の関係者の皆さんが記念撮影を行いました。

昨年12月26日、『岩代おじさん図鑑』の関係者が県庁を訪問。内堀知事に地域活性化の取り組みを報告し「名誉岩代おじさん」の称号を贈りました。

～岩代♡季節の風物詩～
「だんごさし」のある風景～岩代幼稚園

▼園児の皆さんが手で丸めて「楽しい」と笑顔いっぱい



小浜市新町の岩代幼稚園では、一月十日にだんごさしが行われました。当日は、講師として元和菓子職人の小林寅三さんが参加しました。最初にだんごを丸める

岩代の冬を彩る風物詩として「だんごさし」があります。毎年恒例となっている岩代幼稚園での今年の様子を紹介します。



▲年長組9名、年中組8名の17名がだんごさしを楽しみました。だんごさしの由来やみずきの木を使う理由も教えてもらいました。

作業を全員で行い、先生が茹で上げただんごを園児の皆さんがみずきの木に飾り付けました。手作りした絵馬や紙飾りも加わり、彩り

鮮やかなだんごさしの出来栄に、「きれい」「かわいい」と大喜びでした。園児の皆さんが絵馬に書いた願い事を発表し、「逆上がりができるようになりたい」「縄跳び十六回とべますように」「バスケットのシュートを決めたい」「速く走れるようになりたい」「ど無邪気な願い事が印象的でした。最後に一年の無病息災を願いました。作っただんごをみんなで味わいました。



▲干支にちなんだへびや縁起物のダルマ、富士山、松や梅などの飾りも手作りしました。

一枚の写真 その⑤

岩代小浜の歴史と文化を護る会 副会長 大内英克

小浜城の中でも保存状態が良いとされた堀切跡周辺は竹林となっており、朝夕時間があると、のこぎりや草刈り機で駆除し、半年を費やした。「岩代小浜の歴史と文化を護る会」にも支援を要請し共に汗を流した。

（株）本多建設様にも、重機を使用し、篤志で遺跡を傷めないよう注意して伐採、竹林の整理をしてもらった。また、市の補助金を活用し出城跡追手坂平場、南物見台跡、第二曲輪跡の樹木伐採等の整備をした。

その結果、現在の小浜城は徐々にではあるが、昔の面影に戻りつつある。

小浜城址、出城跡（二つ石稻荷）からは、二本松城本丸跡はもとより、安達太良山、吾妻山、更には磐梯山まで望むことができる。

小浜市街地のすぐ近くから、このような驚愕の眺望が望めるまでになった。

築城当時も同じ景色を見ていたのかと思うと感慨深い。

しかし、当時の景観復活のため、樹木を伐採し整備が進むにつれて大きな除草面積が出現する。

コソコソと時間があるときに除草している。もちろん、「岩代小浜の歴史と文化を護る会」の支援もあるが、手に余る面積となっている。小浜城の景観復活に興味のある方は、是非ご支援いただきたい。